

別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社日本介護研究所)
 事業所名 (介護付き有料老人ホーム 長寿の郷)
 サービス種別 (特定施設・介護予防特定施設入居者生活介護)

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年10月1日		眠りSCAN (パラマウントベッド社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年10月1日	-	令和2年10月1日	リースなし
<p>【事業概要】</p> <p>○事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の導入により、見守り業務 (特に夜勤帯) の業務効率の向上と負担軽減を図る。 ・通信環境の整備として無線LAN環境を整備、施設内のほぼ全域でのネットワークアクセスを可能にする。夜間見守りで活用するのみでなく、看護師がどこにいてもバイタル異常の通知を受けられるようにする。 			
<p>【整備スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定後、速やかに発注 (発注日をnとする) ・機器手配 (n+1週間) ・機器設置工事実施 (n+2週間) ・動作検証 (n+2週間+1日) 			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな介護ロボットの利用による、介護ロボット導入効果の達成 			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボットの導入によって期待される効果の実現 ・副次効果として、ケアスタッフ間のコミュニケーション活発化および介護記録電子化の作業効率アップ ・従来は看護師がひとりひとりのバイタルチェック確認をしていたが、機器利用で訪室回数が減り、身体的負担を軽減する 			

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘特別養護老人ホーム)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年10月11日	見守りロボット 眠りSCAN®		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月16日		令和 年 月 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

介護記録のICT化を整備する際に配備した通信環境を用いて見守りロボットを運用してきたが、かねてより通信エラーが発生する等の課題が発生していた。

ここ数年に渡って見守りロボットの整備拡充を図ってきたが、今後より一層の拡充を進めるには、通信環境の向上が必要な状況にある。

現在の通信設備に無線LANルーター追加して通信エリア及び通信速度の改善を目的に増設工事を実施する。

【整備スケジュール】

令和2年 10月 交付決定 (交付決定後、速やかに発注)

11月 工事实施 (時期は中旬以降を予定、期間は3日間)

運用開始

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・見守り機器の通信エラー発生件数を80%軽減させる。
- ・見守り機器の整備 (追加導入) を進める。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・通信環境の改善により効率的に見守り・定期巡視業務が行える。
- ・通信エラーの発生による保守業務の対応時間が減少する。
- ・通信エラーの減少により介護職員の身体的・精神的な負担が軽減できる。
- ・切れ目なく生活リズムの把握ができ、客観的根拠に基づいた効果的な利用者支援ができる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 貞徳会)
 事業所名 (明範荘養護老人ホーム)
 サービス種別 (特定入居者生活介護)

見守り機器の導入(予定)日	見守り機器の製品名		
令和元年10月11日	見守りロボット 眠りSCAN®		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月16日		令和 年 月 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要】 介護記録のICT化を整備する際に配備した通信環境を用いて見守りロボットを運用してきたが、かねてより通信エラーが発生する等の課題が発生していた。 ここ数年に渡って見守りロボットの整備拡充を図ってきたが、より一層の拡充を進めるには、通信環境の向上が必要な状況にある。 現在の通信設備に無線LANルーター追加して通信エリア及び通信速度の改善を目的に増設工事を実施する。通信エリアについては、居室近辺のみならず、地域交流ホールにおいても、研修や行事を実施しながらタブレット上から見守りができるようWiFiのアクセスポイントの増設を図る。			
【整備スケジュール】 令和2年 10月 交付決定 (交付決定後、速やかに発注) 11月 工事实施 (時期は中旬以降を予定、期間は3日間) 運用開始			
【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・見守り機器の通信エラー発生件数を80%軽減させる。 ・見守り機器の整備(追加導入)を進める。 			
【通信環境整備により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・通信環境の改善により効率的に見守り・定期巡視業務が行える。 ・通信エラーの発生による保守業務の対応時間が減少する。 ・通信エラーの減少により介護職員の身体的・精神的な負担が軽減できる。 ・切れ目なく生活リズムの把握ができ、客観的根拠に基づいた効果的な利用者支援ができる。 ・地域交流ホールでの見守りが可能になることで、研修や行事の際に手薄になる通常の見守り業務を行う介護職員の精神的な負担が軽減できる。 			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (昭徳会)
 事業所名 (ケアハウス高浜安立)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		見守りライフ	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月1日		令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>入居者の状態に合わせた設定でナースコールに発報させると共に、タブレット端末等で複数人のリアルタイムな状態を表示できる見守り機器を導入し、入居者の生活の質の向上や特に夜勤職員の精神的な負担を軽減させることを目的としたセンサー導入を検討しているが、入居者の状態の変化や入退居に伴いセンサーを導入させる居室が変更になる。そのため、施設内全体、入居者の個室まで届くWi-Fi設備を整備することにより、安定的に見守り機器を使用できるようにしていく。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>令和2年申請 交付決定後速やかに契約を行い、工事を実施。12月1日の整備時期を予定とする。</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>介護員室から遠い高層階や端の居室においても不安定な電波になることなく、入居者の状態を把握することにより、入居者の生活リズムの把握や入居者の意向に合わせた支援が行え、転倒等の事故の減少をめざす。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>利用者の転倒事故の軽減 利用者の睡眠リズムの把握によるサービスの向上 転倒事故の減少、見守りに関する負担が軽減されることにより、職員が安心して夜勤業務等に従事することができる。</p>			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 緑生福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 緑生苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和 2 年 11 月 30 日	眠り scan NN-1150		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 11 月 30 日	なし	令和 2 年 11 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

- 導入予定の眠り scan をベッド下に設置し、その電波を受信するためには、受信範囲内に Wi-Fi 機器の設置が必要となる。
- 工事業者が建物の構造と各居室の電波の受信状況の現地調査をしたところ、安定した動作を行うため、別紙の「構成図の写し」の通り Wi-Fi 機器の設置個所が提案された。なお、会議実施場所になる食堂や 1 階フロアにも電波が届く範囲で設置個所の設定を依頼した。

【整備スケジュール】

- 補助金交付決定後、速やかに導入を実施する。
- 今回、見積もりで出された Wi-Fi 機器の費用が 2020 年 12 月までのキャンペーン価格なので、交付可否の決定が 11 月末を日途にしていれば、費用をおさえて導入可能です。

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3 年間目処)

- 見守り機器の 1 つである眠り scan の目標は別の計画書に記載した通り。
- 通信の安定性がはかれる Wi-Fi 機器設置により施設内のネットワーク構築を行い、情報共有や利用者様の状態把握を分析しやすくなることができる。
- すでに導入している介護ソフトや ICT 補助金で導入予定の iPad の通信機器も活用が可能となる。今後、眠り scan だけでなくナースコールやインカム等の通信システムを構築し、スムーズな対応共有につなげたい。

【通信環境整備により期待される効果等】

- 手書きメモからパソコンへ内容を転記する 2 度手間作業の省力化
- 文章では伝えにくい部分である傷の状態やレクの様子などを写真撮影での共有及び睡眠時の呼吸や心拍状態から健康状態の把握を記録媒体通した情報共有が可能となる。また、会議実施場所でケアプランの立案などの支援計画を参加者と共に記録媒体を通して確認が可能となる。
- 今後、通信システムを活用した機器やアプリに対して、柔軟に導入可能かどうか検討しやすい環境をつくることできる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設いわと)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		眠りSCAN (パラマウントベッド社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月20日		令和2年11月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>眠りSCAN導入によるWifi環境の整備、及びその他業務改善、利用者様の生活環境の改善が期待できる通信機器などの導入可能にするためのWifi整備</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>交付決定後、直ちにWifi設置工事の発注。同時に眠りスキャンの発注も行う。</p> <p>11月 Wifi設置工事 12月 眠りSCAN納品</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>Wifi環境を整備し、眠りSCANを導入することにより、職員の身体的、精神的負担の軽減。またベッドからの起き上がり等を把握することにより、転倒転落のリスクの軽減を図る。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>Wifi環境を整備することにより、眠りSCANを導入し、職員の身体的、精神的不安を解消でき又利用者の転倒転落のリスクを軽減できる。また共用部分にもWifi設備を整備することにより、看護師などがタブレットによりどこにいても重症の利用者や看取り中の利用者状況や状態の変化に気付くことができる。</p> <p>その上電子カルテ導入についても今後検討することができ、導入されれば、カルテ記入の時間についても大幅に改善される。</p> <p>面会方法も遠方の家族とのテレビ電話など様々な方法で可能となる。</p>			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設いわと)
 サービス種別 (短期生活入居者介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		眠りSCAN (パラマウントベッド社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月20日		令和2年11月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>眠りSCAN導入によるWifi環境の整備、及びその他業務改善、利用者様の生活環境の改善が期待できる通信機器などの導入可能にするためのWifi整備</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>交付決定後、直ちにWifi設置工事の発注。同時に眠りスキャンの発注も行う。</p> <p>11月 Wifi設置工事</p> <p>12月 眠りSCAN納品</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>Wifi環境を整備し、眠りSCANを導入することにより、職員の身体的、精神的負担の軽減。またベッドからの起き上がり等を把握することにより、転倒転落のリスクの軽減を図る。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>Wifi環境を整備することにより、眠りSCANを導入し、職員の身体的、精神的不安を解消でき又利用者の転倒転落のリスクを軽減できる。また共用部分にもWifi設備を整備することにより、看護師などがタブレットによりどこにいても重症の利用者や看取り中の利用者状況や状態の変化に気付くことができる。</p> <p>その上電子カルテ導入についても今後検討することができ、導入されれば、カルテ記入の時間についても大幅に改善される。</p> <p>面会方法も遠方の家族とのテレビ電話など様々な方法で可能となる。</p>			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス岳見)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和 3 年 1 月 10 日		aams	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 12 月 10 日		令和 2 年 12 月 10 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り機器「aams」の導入により、援助を効率化し職員の負担軽減を図る。また、心拍や呼吸のバイタルサイン、睡眠の状態を詳細に把握することにより援助の質を向上させ、入所者様の生活の質を向上させる。

また、整備した通信環境を記録入力のタブレットやご利用者の余暇活動にも使用し、入所者様の余暇活動の充実、記録入力の省力化にも活用したい。

【整備スケジュール】

令和 2 年 9 月 申請
 令和 2 年 12 月 通信環境整備
 令和 3 年 1 月 使用開始

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

入所者様の睡眠状況を把握し、同一時間の一律の援助でなく、個々の状況に応じた個別のケアを提供する。また、ご利用者の状況を詳細に一元的に把握することにより、職員の負担を軽減する。

- ・バイタルサインを詳細に把握することにより、看取り対応時などにデータに基づいた適切な援助を提供するとともに、職員の心理的負担を軽減する。
- ・タブレットを導入し、入所者様の余暇活動に活用する。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・詳細なデータによる個別ケアの推進とケアの質の向上。
- ・ご利用者個々の状況の一元的管理を可能にし、職員の身体的・精神的負担の軽減することによる、職員の定着。
- ・入所者様の余暇活動の充実・生活の質の向上

(注)・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設しろやま)
 サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年11月1日		見守り支援システム「眠りSCAN」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN」を運用する。</p> <p>利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。</p>			
<p>【整備スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに導入する。（令和2年11月整備予定）</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】（3年間目処） 通信環境整備により、眠りSCANを運用することで下記目標を掲げる。 リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】 通信環境整備により、眠りSCANを運用することで下記効果を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。 ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。 ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。 ・通路、共用部にも環境整備することで、看護師等がどこにいてもバイタル異常等の通知を受けることができる。 			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 来光会)
 事業所名 (介護老人福祉施設しろやま)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入(予定)日		見守り機器の製品名	
令和2年11月1日		見守り支援システム「眠りSCAN」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN」を運用する。</p> <p>利用者様の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和2年11月整備予定)</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】(3年間目処)</p> <p>通信環境整備により、眠りSCANを運用することで下記目標を掲げる。</p> <p>リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>通信環境整備により、眠りSCANを運用することで下記効果を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。 ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。 ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。 ・通路、共用部にも環境整備することで、看護師等がどこにいてもバイタル異常等の通知を受けられることができる。 			

(注)

・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (グループホーム寿宴)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 27床の内10床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在3台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の方の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (グループホーム喜寿苑)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製) ✓		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 18床の内4床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (ケアハウス一晃)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護 軽費老人ホーム)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和元年9月30日		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製) /	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながる事が期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 50床の内10床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在5台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (グループホーム百楽苑)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能：18床の内4床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (グループホーム輝楽苑)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製) ✓		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 18床の内4床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (特別養護老人ホーム百華苑)

サービス種別 (地域密着型介護福祉施設入所者生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和元年9月30日		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながる事が期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 29床の内9床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在7台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ百華苑)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

利用者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 10床の内2床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン(現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定)がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、事務所や共用部分等、場所を選ばず利用者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、利用者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム一晃)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 80床の内20床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在10台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の方の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ショートステイ一晃)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>利用者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。</p> <p>そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。</p> <p>その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>交付決定後速やかに整備を行う</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 20床の内4床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン(現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定)がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず利用者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、利用者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。</p>			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム喜寿苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 100床の内24床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在10台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (ショートステイ喜寿苑)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

利用者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 20床の内6床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在5台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、1F事務所や共用部分等、場所を選ばず利用者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、利用者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)

事業所名 (特別養護老人ホーム真寿苑)

サービス種別 (地域密着型介護福祉施設入所者生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年9月30日	眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能：29床の内10床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在5台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。

またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (ケアサポートセンター真寿苑)
 サービス種別 (小規模多機能型居宅介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和元年9月30日		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

利用者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながる事が期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 9床の内2床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン(現在2台※今後必要に応じて増やしていく予定)がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、共用部分等、場所を選ばず利用者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、利用者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 寿宝会)
 事業所名 (グループホーム真寿苑)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和元年9月30日		眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社製)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

入居者の方々へ眠りスキャンを導入することで、眠り等をリアルタイムで把握することができる。情報を把握することで、職員は個々の利用者様の状態に合わせた対応が可能となる。また生活リズムの把握をすることで、ベッドからの転倒や転落事故の減少や職員の見守り業務の負担軽減につながることを期待できる。また眠りスキャンは呼吸数や心拍数の把握もリアルタイムで把握できるため、コロナウイルスへの感染への対応も含め体調管理を図ることができる。

そのため眠りスキャンを施設内のどの居室でも使用可能な環境の整備を行う。

その他、記録業務としてPC、タブレットを活用しているが、限られたスペースではなく、居室や浴室、交流スペース等の事業所内の共用部分で使用することができれば、記録業務に係る時間短縮を図ることができ、職員の負担軽減が期待できる。

【整備スケジュール】

交付決定後速やかに整備を行う

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

現在は通信状況に制限があり、眠りスキャンの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(使用可能: 18床の内10床) 環境の整備に伴って、眠りスキャン (現在5台※今後必要に応じて増やしていく予定) がどの居室においても使用が可能な状態になることで、必要な方に使用していただけるように環境を整える。また居室や事業所内の共用部分等でPCやタブレットの使用ができる状態にする。

【通信環境整備により期待される効果等】

どの居室の方も眠りスキャンが使用できる。また眠りスキャンの運用状況の確認はPCにて行うが、共用部分等、場所を選ばず入居者の方の状況が確認できるようになる。それによって、上記の様に利用者の状況をリアルタイムで把握でき、入居者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減が図れるようになる。

またタブレットの使用可能な場所が増えることで、記録業務の時間短縮と他職種含めて、情報の共有化が図れ、職員連携がとりやすくなる。

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (特定非営利活動法人ふれあいサポート)

事業所名 (グループホームこまんば)

サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
	見守り支援システム「眠り SCAN」		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠り SCAN」を運用する。</p> <p>見守り支援システムを導入することにより、特に夜間の睡眠、体調状況をデータにより把握することで日頃のケアにつなげ、利用者の生活の質を向上させるとともに、見守りケアの効率化を図ることによって、介護従事者の負担を軽減する。</p>			
<p>【整備スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに導入する (令和2年11月整備予定)</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処) 通信環境整備により、眠り SCAN を運用することで下記目標を掲げる。 睡眠時の状況 (呼吸、覚醒、離床等) をこれまでの目視から介護ロボットによるモニタリング、データ化することで利用者の生活状況の把握ができる。また転落、転倒などの事故の予防にもつながる。さらにはスタッフの業務省力化、ケアの向上につながる。</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】 通信環境整備により、眠り SCAN を運用することで下記効果を期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 睡眠状況をデータで把握することにより、日中の認知症ケアの質の向上につながる。 ● 睡眠状況を確認することで、服薬の適正を見ることができる。 ● 訪室による確認は、睡眠の妨げにもなっていたが、導入により睡眠の確保につながる。 ● 健康状態 (心拍数、呼吸、睡眠状態) を把握することができるため、利用者の健康状態の把握とともに、スタッフの心身の負担の軽減にもつながる。 			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人光慈会)
 事業所名 (介護老人保健施設かりや)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		眠りスキャン eye (パラマウンドベッド株式会社)	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月1日	50	令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要】 見守り支援により業務効率化を図り、介護職員の業務負担の軽減を図ると共に、利用者の状況をリアルタイムで確認し、利用者の見守り強化を図る。 夜間の巡回頻度を少なくすることにより、新型コロナウイルス感染予防対策を図る。 上記内容で見守り支援ロボットを導入するため、無線 LUN 及び有線 LUN 配線工事を行い、通信環境整備を行う。			
【整備スケジュール】 交付決定後に発注。令和2年12月1日ごろ納品を目安にする。 見守り支援ロボット納品後は職員への研修会を実施し、使用方法、プライバシーへの配慮等を説明する。また、定期的に下記の達成すべき目標の進捗度合いを評価し、進捗度合い達成に向けて使用方法の見直しや検討を図っていく。			
【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処) <ul style="list-style-type: none"> ・見守り業務を効率化し、介護職員の業務負担軽減を目指す。 ・効率的な見守り業務を強化し、転倒転落に関する事故発生件数の減少を目指す。 			
【通信環境整備により期待される効果等】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のベッドからの転落リスクの減少。 ・介護職員の業務負担軽減。 ・介護職員の夜勤時リスク管理における精神的負担軽減。 ・利用者との接触軽減による新型コロナウイルス感染予防 			

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 清明福祉会)

事業所名 (建国ビハラー)

サービス種別 (特別養護老人ホーム)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		眠りスキャン	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月1日		令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>利用者様のマットレスや式布団の下に敷いて、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を検出。利用者様の睡眠・覚醒・起き上がり・離床などを端末にリアルタイムで表示。測定結果を活用して利用者様の状態に合わせたタイムリーな個別ケアの提供ができる。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>眠りスキャン通信環境工事について。 施設内に Wi-Fi 通信設備設定。</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者様の生活リズムを把握し、利用者様に合わせたケアを提供できる。 利用者様の体調の変化</p>			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>利用者様の体調の変化や、生活リズムを把握し、データ化できる。 利用者様の夜間の体調管理や睡眠状況について遠隔から管理できる。</p>			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人 孝友会)
 事業所名 (介護老人保健施設サザン一宮)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月14日		見守り支援システム「眠りSCAN」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月7日		令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>Wi-Fi環境を整備することにより、眠りSCANを運用する。眠りSCANは見守り支援により業務の効率化を図り、介護従事者の負担を軽減すると共に、入居者の状況をリアルタイムで確認し、入居者の見守りの強化を図る。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <p>補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和2年12月整備予定)</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>通信環境を整備することで、眠りSCANを運用し、下記3点を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り業務の効率化と介護職員の心理的、身体的負担の軽減を図る。 ・ベッド上での状態の把握に努め、転倒転落などのリスクを軽減させる。 ・当該機器を活用し、状態の変化を把握することで看取り介護の充実を目指す。 			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>通信環境を整備することで、眠りSCANを運用し、下記3点の効果期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状態(睡眠・覚醒・起き上がり・離床)を早期に把握することができるため、転倒や転落等の事故防止。 ・入居者の睡眠を妨げることのない介護サービスの提供。 ・心拍数や呼吸数、睡眠状態を把握できるため、夜間帯の介護スタッフの業務における、精神的・身体的負担の軽減。 			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人白楊会)
 事業所名 (虹ヶ丘老人保健施設)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

(注)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和3年1月		HitomeQ ケアサポート	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月末 日		令和2年10月末日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り機器は各居室の天井に、行動分析センサーを設置する。あわせて、入居者の注意行動を認識し、介護スタッフのスマートフォンに起床・離床・転倒といった分析結果を映像とともに通知する。介護スタッフ間の情報共有ツールとケア記録の機能も具備するため、センサー情報のサーバ格納とスタッフ間情報共有のため無線LANアクセスポイント整備を要する。

【整備スケジュール】

交付決定後に速やかに発注し導入準備を進める。2020年10月発注、2020年10月～1月施工・構築、2021年2月使用説明会実施後運用開始。

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

会議時間や記録時間を削減して、時間外の削減、介護の質の向上につながる時間に充てたい。記録事務作業を50%削減し、直接ケア業務を10%向上したい。

転倒時のエビデンスを取得し、対策を実施することにより、転倒事故を50%削減したい

【通信環境整備により期待される効果等】

○利用者の居住環境の向上:

- ・センサー鳴動時に、適切な対応を行うことにより、利用者の転倒を予防できる。
- ・不要な訪問を行わずに済むことで、夜間等の睡眠を妨げることが無くなり、居住環境が向上する。
- ・離床に至るデータの検証により、支援方法の見直しが行え、サービスを効果的・効率的に提供できる。

○介護スタッフの負担軽減: ・「映像を見て駆け付け」「スピーカーを通じての入居者との会話」運用により訪室業務が削減できる。 ・「映像通知」により異なるフロアをまたいだ駆け付けが可能となる。 ・スマホでその場でのケア記録入力ができ移動時間が削減できる。

- ・都度スマホで情報連携でき、申し送りなどの情報共有時間を削減できる。

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人 豊成会)
 事業所名 (老人保健施設ウェルビー)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		見守り支援システム「眠りSCAN」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年12月1日		令和2年12月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN」を運用する。</p> <p>利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。</p>			
<p>【整備スケジュール】 補助金交付決定後、速やかに導入する。（令和2年12月整備予定）</p>			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】（3年間目処）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 居室内での事故を50%削減 2. 夜勤を行うスタッフの離職率50%削減 3. 生活リズム、QOLの向上ができるケアの実践から超強化型老健としての継続支援 4. 看取りの実践 5. 感染症予防 			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タイムリーなケアの実現。睡眠覚醒時に適切なケア、声掛け 2. 居室内、特にベッド付近での事故防止 3. スタッフの身体的、精神的負担の軽減 4. 睡眠状況や生活リズムを見える化で情報共有、個別ケアサービス改善につながる 5. 体調変化、看取りケアの適切な対応 			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社豊田ほっとかん)

事業所名 (有料老人ホーム豊田ほっとかん)

サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の導入(予定)日		見守り機器の製品名	
令和2年11月1日		見守り介護ロボット aams	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場 合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要】 ◎事業概要 見守り介護ロボット aams は、利用者のベッドに設置したセンサーから得た情報を wifi を経由して PC など端末に表示させるため、館内の wifi 環境を整備することで、見守り介護ロボット aams による見守り状況を、場所を問わず把握できるようにし、転倒・転落等の事故の予防を図るとともに異常時の早期発見に繋げる。 また、職員の業務負担軽減や、効率化を図り、離職率の低下に繋げる。			
【整備スケジュール】 令和2年8月 現場確認 令和2年9月 申請 令和2年11月 導入(工期は4~5日程度)			
【通信環境整備により達成すべき目標】(3年間目処) ・入居者の睡眠リズムをより密に把握することにより、認知症患者への対応の迅速化、転倒・転落等の事故防止が可能になる。 ・夜間の訪室を減らし、職員の業務の効率化を図り、肉体的・精神的なストレスを軽減させる。			
【通信環境整備により期待される効果等】 wifi 通信環境を整備することで、場所を問わず見守り状況を把握でき、より効率的かつ手厚く介護業務を行えるようになる。			

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人 医誠会)
 事業所名 (介護老人保健施設エスペラル東春)
 サービス種別 (介護老人保健施設・短期入所療養介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
平成 30 年 3 月 28 日	コールマット・徘徊コールⅢ 5 台、サイドコール・ケーブルタイプ 8 台、		
平成 30 年 9 月 27 日	サイドコール・ケーブルタイプ 2 台		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 12 月 15 日	29 台	令和 2 年 12 月 15 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

現 状: 利用者の見守りのため離床センサー等を導入しているが、反応時に複数の職員が同時に駆け付けるなどの事例が発生、他の利用者へのケアが十分に行えていないことが懸念。職員の導線が長くなることで職員の業務負担となり、職員の定着率が向上しない。

課 題: ①職員間コミュニケーションの強化 ②離職者の減少 ③職場環境の改善

解決策: 通信環境(Wi-Fi、インカム)を整備し、職員間のコミュニケーションをリアルタイムに行うことで利用者対応を無駄なく効率的に行い職員の負担軽減を図る

【整備スケジュール】

- (1) 1年目: インカムによる職員間コミュニケーションのあり方(いつ、誰が発信し、誰が対応するか)効果的な手順を整理、実習・研修を行い、日常業務に組み込む。
- (2) 2年目: 前年度の使用実績を踏まえた検証を行い、より効率的・効果的活用方法の見直しを行う。他の事業所での活用実績も踏まえ業務の標準化・マニュアル化を行う。
- (3) 3年目: 前年度の使用実績を踏まえた検証を行い、より効率的・効果的活用方法の見直しを行う。3年間の蓄積をもとに業務における職員間情報伝達(コミュニケーション)あり方を標準化する

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

令和2年度における職員の累積残業を 50%未満とするとともに、施設内で発生する転倒・転落の事故を減らす。

【通信環境整備により期待される効果等】

体力的な負担を利用にした離職者を 0 にするとともに、日々の業務に必要な職員体制に不足を生じさせない。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人愛生館)
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和3年2月	HitomeQ ケアサポート (コニカミノルタ QOL ソリューションズ)		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和3年1月31日		令和2年11月31日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
【事業概要】			
<p>各居室の天井に見守り機器 (行動分析センサー) を設置する。居室内の見守り機器により入居者の注意行動を認識し、介護スタッフが持つスマートフォンに起床・離床・転倒といった分析結果を映像とともに通知する。また、介護スタッフ間の情報共有ツールと施設内での通話機能も具備されている。業務効率化とケア品質向上を目的に見守り機器を導入するに際し、新たに施設内の通信環境整備を要する。</p>			
【整備スケジュール】			
<p>交付決定後に速やかに発注し導入準備を進める。 2020年10月発注、2020年11月～1月施工・構築、2021年2月使用説明会実施後運用開始</p>			
【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪室業務が見える化し、介護スタッフの身体的・精神的負担を軽減する。 ・ 不要な訪室を削減し、ご利用者の良眠化を図る (夜間訪室の50%削減) ・ 適切なタイミングでの訪室をすることで、転倒転落などの事故を軽減する。 (転倒事故数の50%削減) 			
【通信環境整備により期待される効果等】			
<p>HitomeQ ケアサポートを導入することで、離れた場所でも複数同時に、早期に映像での状況を把握できるとともに、不要な居室訪問を減らすことができる。これにより、次のような効果が期待できる。</p>			
【利用者の居住環境の向上】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ センサー鳴動時に、適切な対応を行うことにより、利用者の転倒を予防できる。 ・ 不要な居室への訪問を行わずに済むことで、夜間等の睡眠を妨げることが無くなり、居住環境が向上する。 			
【介護スタッフの負担軽減】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「映像を見て駆け付け」「スピーカーを通じての入居者との会話」運用により訪室業務が削減できる。 ・ 都度スマホで情報連携でき、申し送りなどの情報共有時間を削減できる 			

(注)

- ・ 構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人愛生福祉会)

事業所名 (ショートステイ鳩の丘)

サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月1日		見守りシステム Neos+Care	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【事業概要】</p> <p>ご利用者様の転倒・転落の予兆動作を検知する見守り機器の導入を検討しているが、現在通信環境が古く、フロア奥に至っては電波がほぼ届かない状態である。今回、通信環境整備を行い、フロア全体の電波状況の改善を図り、見守り機器を導入することで、ご利用者に対して迅速な対応を行うことが出来ると共に見守り業務の効率化、職員の業務負担の軽減を図る。</p>			
<p>【整備スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月電波強度確認調査及び通信設備設置場所の調査 ・10月見守り機器説明会実施 ・11月通信環境整備工事 (1日で終了予定) 			
<p>【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り機器を導入し、見守り業務の効率化を図り、介護職員の業務負担の軽減を目標とする。 ・見守りシステムを効率的に使用することにより、転落事故等の発生を減らし、ご利用者様やご家族様に安心を提供し、介護サービスの質の向上を目標とする。 			
<p>【通信環境整備により期待される効果等】</p> <p>現在の電波状況は専門業者に調査してもらったところフロア奥の居室内になると-80dBmと非常に弱い。通信環境整備を行うことで、フロア奥の居室内においてもおおよそ-60dBmの電波状況になるため、フロア全体の通信環境が改善できる。それに伴い、見守りシステムを導入することが出来、ご利用者の安全及び職場環境の改善が図れるようになる。ご利用者様・職員双方にとっても住みやすい、働きやすい環境になることが期待できる。</p>			

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人相志会)

事業所名 (地域密着型特別養護老人ホームこころくぼり)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年10月31日 (眠りスキャン)		眠りスキャン	
令和2年10月12日 (おきナール・ふみナール)		おきナール・ふみナール	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年10月12日		令和2年10月12日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

従来のネットワーク環境では、眠りスキャンの通知を事務所のパソコンでしか受信出来なかったが、ネットワーク環境の再構築及び眠りスキャンをナースと連携することにより、タブレット及びナースコールでも通知を受信することが出来るようにする。また、共用部においても、wifiを導入することにより介護・看護職員がどこにいてもタブレットにてバイタル異常等の通知が受けられるようになる。

【整備スケジュール】

令和2年10月12日設置し、すぐに活用することにする。
(操作及び動作は以前使用していたものと変わらない為、設置後すぐに使用開始)

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

ナースコール環境を再構築することにより、特別養護老人ホームに入居されている入居者が、適宜必要な求められるサービスを受けられるように整備することにより、ストレスなく安心した環境で過ごすことが出来る。働くスタッフの身体的、精神的負担軽減や業務効率アップを図る。

【通信環境整備により期待される効果等】

ナースコール環境を再構築することにより、特別養護老人ホームに入居されている入居者が、適宜必要な求められるサービスを受けられるように整備することにより、ストレスなく安心した環境で過ごすことが出来る。働くスタッフの身体的・精神的負担軽減や業務効率アップを図る。

(注)

・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームアルメゾンみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入(予定)日		見守り機器の製品名	
令和元年11月21日		見守り支援システム眠りSCAN 次世代型見守り支援システム Neos+Care	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年10月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り支援ロボット(導入済)が円滑に機能する通信環境を整備することにより、業務の効率化を図り介護従事者の負担軽減を図る。

※各ロボットの誤作動と発報端末の受信エラー続き、業者に調査を依頼したところ、ネットワークの交通整備と電波状況のムラの改善が必要であるとの提案を受けた。

【整備スケジュール】

令和2年10月中旬から11月初旬にかけて整備、整備後現在使用している介護ロボットの動作確認実施、10月下旬使用勉強会、毎月のICT委員会にて経過報告。

【通信環境整備により達成すべき目標】(3年間目処)

- ・利用者の居室場所を選ばず介護ロボットが使用できる通信環境整備することにより、身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない利用者のサインを介護従事者が端末等でキャッチし事故のリスク軽減、データ分析の精度を上げる。利用者本来の能力の把握、要因対策、プランの立案により、睡眠状態の改善、不必要な訪室(巡回)の削減が可能となり、特に夜間介護従事者の見守り業務負担軽減を目標とする。
- ・現在使用している記録システム、介護ロボットが円滑に機能し、連携可能になることで記録業務の手間を削減、更なる介護負担軽減を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・利用者の居室場所ではなく、身体状況に合わせて介護ロボットの活用が可能になる。
- ・眠りSCANでは認知症利用者の生活リズムの改善計画を立案・実施。行動障害の軽減により介護従事者の負担軽減となる。更に看取り利用者の呼吸状態、心拍をリアルタイムで確認、見守りの精神的不安軽減に繋がる。
- ・Neos+Careは身体状況に合わせたサインを端末でキャッチし、動画で状況確認、記録することで夜間巡視を削減し夜間介護従事者の肉体的、精神的負担軽減に繋がる。
- ・原因不明事故の要因分析を正確に行い、身体能力にあわせた居室内環境整備、家族説明等への活用等で、安心して勤務できる体制づくりが可能となる。
- ・無線アクセスポイントの違いについて、既存のアクセスポイントは単体～2台で運用する小規模事業所向け、新設のアクセスポイントは5台以上でネットワーク構築が必要となる施設向けで、耐久性も大きく異なる(機器の出力範囲やアンテナ性能も向上)。よって、上記目標が達成できる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームコムネックスみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年 11 月 21 日	見守り支援システム眠り SCAN 次世代型見守り支援システム Neos+Care		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年 11 月 1 日		令和2年 10 月 15 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り支援ロボット (導入済) が円滑に機能する通信環境を整備することにより、業務の効率化を図り介護従事者の負担軽減を図る。

※各ロボットの誤作動と発報端末の受信エラー続き、業者に調査を依頼したところ、ネットワークの交通整備と電波状況のムラの改善が必要であるとの提案を受けた。

【整備スケジュール】

令和2年 10 月中旬から 11 月初旬にかけて整備、整備後現在使用している介護ロボットの動作確認実施、10 月下旬使用勉強会、毎月の ICT 委員会にて経過報告。

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・利用者の居室場所を選ばず介護ロボットが使用できる通信環境整備することにより、身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない利用者のサインを介護従事者が端末等でキャッチし事故のリスク軽減、データ分析の精度を上げる。利用者本来の能力の把握、要因対策、プランの立案により、睡眠状態の改善、不必要な訪室 (巡回) の削減が可能となり、特に夜間介護従事者の見守り業務負担軽減を目標とする。
- ・現在使用している記録システム、介護ロボットが円滑に機能し、連携可能になることで記録業務の手間を削減、更なる介護負担軽減を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・利用者の居室場所ではなく、身体状況に合わせて介護ロボットの活用が可能になる。
- ・眠り SCAN では認知症利用者の生活リズムの改善計画を立案・実施。行動障害の軽減により介護従事者の負担軽減となる。更に看取り利用者の呼吸状態、心拍をリアルタイムで確認、見守りの精神的不安軽減に繋がる。
- ・Neos+Care は身体状況に合わせたサインを端末でキャッチし、動画で状況確認、記録することで夜間巡視を削減し夜間介護従事者の肉体的、精神的負担軽減に繋がる。
- ・原因不明事故の要因分析を正確に行い、身体能力にあわせた居室内環境整備、家族説明等への活用等で、安心して勤務できる体制づくりが可能となる。
- ・無線アクセスポイントの違いについて、既存のアクセスポイントは単体～2台で運用する小規模事業所向け、新設のアクセスポイントは5台以上でネットワーク構築が必要となる施設向けで、耐久性も大きく異なる (機器の出力範囲やアンテナ性能も向上)。よって、上記目標が達成できる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (コムネックスみづほショートステイ)
 サービス種別 (短期入所生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年 9 月 26 日	見守り支援システム眠り SCAN		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年 11 月 1 日		令和2年 10 月 15 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り支援ロボット (導入済) が円滑に機能する通信環境を整備することにより、業務の効率化を図り介護従事者の負担軽減を図る。
 ※各ロボットの誤作動と発報端末の受信エラー続き、業者に調査を依頼したところ、ネットワークの交通整備と電波状況のムラの改善が必要であるとの提案を受けた。

【整備スケジュール】

令和2年 10 月中旬から 11 月初旬にかけて整備、整備後現在使用している介護ロボットの動作確認実施、10 月下旬使用勉強会、毎月の ICT 委員会にて経過報告。

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・利用者の居室場所を選ばず介護ロボットが使用できる通信環境整備することにより、身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない利用者のサインを介護従事者が端末等でキャッチし事故のリスク軽減、データ分析の精度を上げる。利用者本来の能力の把握、要因対策、プランの立案により、睡眠状態の改善、不必要な訪室 (巡回) の削減が可能となり、特に夜間介護従事者の見守り業務負担軽減を目標とする。
- ・現在使用している記録システム、介護ロボットが円滑に機能し、連携可能になることで記録業務の手間を削減、更なる介護負担軽減を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・利用者の居室場所ではなく、身体状況に合わせて介護ロボットの活用が可能になる。
- ・眠り SCAN では認知症利用者の生活リズムの改善計画を立案・実施。行動障害の軽減により介護従事者の負担軽減となる。利用者の呼吸状態、心拍をリアルタイムで確認、夜間巡視を削減し夜間介護従事者の肉体的、精神的負担軽減に繋がる。
- ・原因不明事故の要因分析を正確に行い、身体能力にあわせた居室内環境整備、家族への説明等への活用等で、安心して勤務できる体制づくりが可能となる。
- ・無線アクセスポイントの違いについて、既存のアクセスポイントは単体～2台で運用する小規模事業所向け、新設のアクセスポイントは5台以上でネットワーク構築が必要となる施設向けで、耐久性も大きく異なる (機器の出力範囲やアンテナ性能も向上)。よって、上記目標が達成できる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人慈雲福祉会)
 事業所名 (特別養護老人ホームウエルコートみづほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
平成29年9月22日	見守り支援システム眠り SCAN 見守り支援システム aams		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年10月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

見守り支援ロボット (導入済) が円滑に機能する通信環境を整備することにより、業務の効率化を図り介護従事者の負担軽減を図る。

※各ロボットの誤作動と発報端末の受信エラー続き、業者に調査を依頼したところ、ネットワークの交通整備と電波状況のムラの改善が必要であるとの提案を受けた。

【整備スケジュール】

令和2年10月中旬から11月初旬にかけて整備、整備後現在使用している介護ロボットの動作確認実施、10月下旬使用勉強会、毎月のICT委員会にて経過報告。

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・利用者の居室場所を選ばず介護ロボットが使用できる通信環境整備することにより、身体状況、認知状況等によりナースコール発信出来ない利用者のサインを介護従事者が端末等でキャッチし事故のリスク軽減、データ分析の精度を上げる。利用者本来の能力の把握、要因対策、プランの立案により、睡眠状態の改善、不必要な訪室 (巡回) の削減が可能となり、特に夜間介護従事者の見守り業務負担軽減を目標とする。
- ・現在使用している記録システム、介護ロボットが円滑に機能し、連携可能になることで記録業務の手間を削減、更なる介護負担軽減を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

- ・利用者の居室場所ではなく、身体状況に合わせて介護ロボットの活用が可能になる。
- ・眠り SCAN では認知症利用者の生活リズムの改善計画を立案・実施。行動障害の軽減により介護従事者の負担軽減となる。更に看取り利用者の呼吸状態、心拍をリアルタイムで確認、見守りの精神的不安軽減に繋がる。
- ・aams は看取り介護の利用者の身体状況に合わせたサインをモニターで状況確認、記録することで夜間巡視を削減し夜間介護従事者の肉体的、精神的負担軽減に繋がる。
- ・情報の分析を正確に行い、家族への説明等への活用等で、安心して勤務できる体制づくりが可能となる。
- ・無線アクセスポイントの違いについて、既存のアクセスポイントは単体～2台で運用する小規模事業所向け、新設のアクセスポイントは5台以上でネットワーク構築が必要となる施設向けで、耐久性も大きく異なる (機器の出力範囲やアンテナ性能も向上)。よって、上記目標が達成できる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人さくら福祉事業会)
 事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)
 サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

見守り機器の導入 (予定) 日	見守り機器の製品名		
令和元年 9 月 18 日	眠りスキャン		
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 12 月 15 日	10	令和 2 年 12 月 15 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

眠りスキャンからのアラートが出た際、パソコンで確認し職員にインカムにてアラート内容を連絡することで、離床・臥床した利用者様への迅速な対応が可能となる。

【整備スケジュール】

令和 2 年 1 2 月中旬 導入
 取り扱い説明会を実施

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・見守り機器との通信の連携を図り、職員間の情報共有を密にする
- ・利用者の転倒リスクの減少と職員の身体的・心理的負担の軽減

【通信環境整備により期待される効果等】

見守り機器からの通信情報をスムーズに職員に情報が届くことで、利用者の転倒及び転落事故が発生する前にいち早く利用者の元に駆けつけることができる

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月15日		エスパシア	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 年 月 日	18	令和2年12月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

介護ベッド (エスパシア) と連動させることで、利用者様が離床された際にベッドから自動的にインカムに離床状況のアナウンスが入り、いち早く現場に急行し利用者様の対応が可能となる。又、利用者様の転倒や異常の場合に職員間の情報共有がすぐにできる為、迅速な対応が可能となる。

【整備スケジュール】

令和2年12月中旬 導入
 取り扱い説明会を実施

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・見守り機器との通信の連携を図り、職員間の情報共有を密にする
- ・利用者の転倒リスクの減少と職員の身体的・心理的負担の軽減

【通信環境整備により期待される効果等】

見守り機器からの通信情報をインカムから職員に情報が届くことで、利用者の転倒及び転落事故が発生する前にいち早く利用者の元に駆けつけることができる

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年12月15日		エスパシア	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 年 月 日	15	令和2年12月15日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

介護ベッド (エスパシア) と連動させることで、利用者様が離床された際にベッドから自動的にインカムに離床状況のアナウンスが入り、いち早く現場に急行し利用者様の対応が可能となる。又、利用者様の転倒や異常の場合に職員間の情報共有がすぐにできる為、迅速な対応が可能となる。

【整備スケジュール】

令和2年12月中旬 導入
 取り扱い説明会を実施

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

- ・見守り機器との通信の連携を図り、職員間の情報共有を密にする
- ・利用者の転倒リスクの減少と職員の身体的・心理的負担の軽減

【通信環境整備により期待される効果等】

見守り機器からの通信情報をインカムから職員に情報が届くことで、利用者の転倒及び転落事故が発生する前にいち早く利用者の元に駆けつけることができる

(注)

- ・構成図の写しを添付すること

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホームシルバーピアみどり苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設【従来型】)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和 2 年 11 月 1 日		見守り支援システム「眠り SCAN, 眠り SCAN eye」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 11 月 1 日		令和 2 年 11 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

WIFI 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠り SCAN, 眠り SCAN eye」を運用する。

見守り支援システム「眠り SCAN」及び「眠り SCANeye」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、カメラの映像も併せて見ることで、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

また、共用部のアクセスポイントが WIFI 通信環境で整備されることにより、共用部分のどこにいても、看護師が重度や看取りの利用者様のバイタルを取りやすくなるし、情報が早く受け取りやすくなる。

【整備スケジュール】

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和 2 年 11 月整備予定)

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

WIFI 通信環境整備により、「眠り SCAN, 眠り SCAN eye」を運用することで下記目標を掲げる。リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

WIFI 通信環境整備により、「眠り SCAN, 眠り SCAN eye」を運用することで下記効果を期待する。

- ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。
- ・利用者様の様子を映像にて把握。
- ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホームシルバーピアみずほ)
 サービス種別 (介護老人福祉施設【ユニット型】)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年11月1日		見守り支援システム「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

WIFI 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用する。

見守り支援システム「眠りSCAN」及び「眠りSCANeye」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、カメラの映像も併せて見ることで、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

また、共用部のアクセスポイントが WIFI 通信環境で整備されることにより、共用部分のどこにいても、看護師が重度や看取りの利用者様のバイタルを取りやすくなるし、情報が早く受け取りやすくなる。

【整備スケジュール】

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和2年11月整備予定)

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

WIFI 通信環境整備により、「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用することで下記目標を掲げる。

リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

WIFI 通信環境整備により、「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用することで下記効果を期待する。

- ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。
- ・利用者様の様子を映像にて把握。
- ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・特にユニット型による職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人長寿会)
 事業所名 (特別養護老人ホームシルバーピアかりや)
 サービス種別 (介護老人福祉施設【ユニット型】)

見守り機器の導入 (予定) 日		見守り機器の製品名	
令和2年11月1日		見守り支援システム「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和2年11月1日		令和2年11月1日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

WIFI 通信環境を整備することにより、見守り支援システム「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用する。

見守り支援システム「眠りSCAN」及び「眠りSCANeye」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、カメラの映像も併せて見ることで、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

また、共用部のアクセスポイントが WIFI 通信環境で整備されることにより、共用部分のどこにいても、看護師が重度や看取りの利用者様のバイタルを取りやすくなるし、情報が早く受け取りやすくなる。

【整備スケジュール】

補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和2年11月整備予定)

【通信環境整備により達成すべき目標】 (3年間目処)

WIFI 通信環境整備により、「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用することで下記目標を掲げる。

リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

WIFI 通信環境整備により、「眠りSCAN, 眠りSCAN eye」を運用することで下記効果を期待する。

- ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。
- ・利用者様の様子を映像にて把握。
- ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・特にユニット型による職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(注)

・構成図の写しを添付すること。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人長寿会)
 事業所名 (ケアハウスシルバーピアかりや)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器の導入日		見守り機器の製品名	
令和元年 9 月 25 日		見守り支援システム「眠り SCAN」	
通信環境整備時期 (予定)	※インカム機器の場合 導入数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和 2 年 11 月 1 日		令和 2 年 11 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【事業概要】

WIFI 通信環境の充実した整備をすることにより、以前から導入していた見守り支援システム「眠り SCAN」を有効に運用する。
 見守り支援システム「眠り SCAN」を使用することは、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。共用部のアクセスポイントが WIFI 通信環境で整備されることは、共用部分のどこにいても、看護師が重度や看取りの利用者様のバイタルを取りやすくなるし、情報が早く受け取りやすくなる

【整備スケジュール】

補助金交付決定後、速やかに導入する。（令和 2 年 11 月整備予定）

【通信環境整備により達成すべき目標】（3年間目処）

WIFI 通信環境整備により、「眠り SCAN」を運用することで下記目標を掲げる。
 リアルタイムに可視化される利用者様の状況に合わせ、個別ケアを行い、ご利用者様の夜間の睡眠を妨げないよう介護を提供する。また、夜勤職員の業務の効率化、精神的・身体的な負担の軽減をさせる事を目標とする。

【通信環境整備により期待される効果等】

WIFI 通信環境整備により、「眠り SCAN」を運用することで下記効果を期待する。

- ・利用者様の睡眠・呼吸・心拍状況の把握。
- ・利用者様の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
- ・特にユニット型による職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(注)

- ・構成図の写しを添付すること。